

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	阪急茨木北口自転車駐車場	階数	地上3F
建設地	茨木市永代町	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	1人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2023年2月14日
敷地面積	1,534㎡	作成者	湯浅 武夫
建築面積	1,190㎡	確認日	2023年2月14日
延床面積	3,569㎡	確認者	湯浅 武夫



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 1.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネルギー、リサイクル性能といった環境への配慮と共に機能性、バリアフリー、景観への配慮なども含め建築物の総合的な環境性能を評価できるように計画。	その他
Q1 室内環境	0	Q3 室外環境(敷地内) 建物の高さ、壁面位置、外装、屋根等の形状や色彩において、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させるように配慮。沿道に緑地帯を設置。
LR1 エネルギー	0	LR3 敷地外環境 関連法規に準拠し、環境配慮に努める。
	Q2 サービス性能 将来の改修に備えたフレキシブルな計画を行う。	
	LR2 資源・マテリアル 合理性を重視したプランニングや材料選定を行い、非再生性原材料使用量を削減する。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0151

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	阪急茨木北口自転車駐車場					
		建設地	茨木市永代町					
		用途/区分	工場					
【評価結果】		CASBEE 総合評価	★ ★ ☆ ☆ ☆			B-		
①	CO2削減	☆☆☆☆☆			評価対象外			
②	みどり・ヒート アイランド対策	☆☆☆☆☆			3			
③	建物の断熱性	☆☆☆☆☆			評価対象外			
④	エネルギー削減	☆☆☆☆☆			評価対象外			
⑤	自然エネルギー直接利用				—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
		エネルギー消費量の報告						
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価					-	
② みどり・ヒートアイランド対策							3	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
		温熱環境悪化の改善				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					-	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					-	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称	考慮事項					
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								